

第2学年3組 学級活動授業案

第5時限 2年3組教室 授業者 戸河里 長規

1 題材 大好き 牛小ラップ 2019 ver ~あいさつ編~

2 ねらい

- あいさつをすることの大切さを理解することができる。 (知識・技能)
- 自分自身や学級全体のあいさつの様子を振り返り、課題を見つけ、課題解決に向けて考えたり、話し合ったりすることができる。 (思考・判断・表現)
- あいさつを我が事だと感じ取り、目標を設定し、意欲的に「明るいあいさつ」に取り組もうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 構 想

(1) これまでの子どもの学び

子どもたちは、1年生では道徳「あかるい あいさつ」や児童会活動の「あいさつ運動」を通して、あいさつをすることの大切さや価値を学んできた。学びのあとには、大きな声であいさつをしようとする姿勢やすすんであいさつをしようとする姿勢が見られた。積極的にあいさつをしようという意識を継続できた子は少なかったが、多くの子が一定期間は自分からあいさつをすることができていた。

2年生となり子どもたちはお兄さんお姉さんとして、新1年生に立派な姿を見せたいと張り切っている。しかし、進級して2か月以上が経ったことで、4月の頃と比べるとお兄さんお姉さんという意識が薄くなってしまっている子が多い。それでも、移動時には廊下を静かに歩くこと、禁止されているところでは遊ばないこと、静かに掃除をすることなどの基本的な生活習慣や学校生活でのルールを昨年度よりも意識しながら生活できるようになってきている。

(2) 教材を選定する

特別活動の学習指導要領では、学級活動(2)ーア「基本的な生活習慣の形成」において、「身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にする」と記されている。また、あいさつは古くから社会的な礼儀、コミュニケーションへのきっかけとして世界中の国で、当たり前のように行われている。あいさつは重要な生活習慣の一つとして、生活に溶け込んでいるものであり、修得が求められている。

本校では、重点努力目標として「基本的な生活習慣の徹底を図り『笑顔、優しさ、個性あふれる牛小っ子』の育成」をめざしている。今年度は重点努力目標を教員、児童がともに意識できるよう「牛小ラップ2019 ver」が校長より示されている。この牛小ラップは校内の複数個所に掲示されており、子どもたちは毎日目にしている。児童集会の場でも、子どもたちは牛小ラップを何度も耳にしており歌うことができる子も多くいる。そこで、子どもたちにとって親しみのある牛小ラップを学習に取り入れれば、主体的に、あいさつについて考えることができ、定着を図ることができるのではないかと考えた。また、牛小ラップでは、「明るいあいさつ」と示されており、ただあいさつをするのではなく、あいさつを届けたいという子どもの思いのこもったあいさつを追求できる題材だと考え、本単元を設定した。

(3) 活動を見通す

まず、普段どのような場面であいさつをしているのか考えさせる。その際、あいさつにはどんな言葉があるのかも考えさせる。あいさつをする場面がたくさんあることやそれに合わせ多くのあいさつがあることを感じ取らせ、あいさつが身近なものであることを認識させたい。その上で、子どもたちに親しみのある牛小ラップ2019 verを取り上げ、「明るいあいさつ」について考えていく。親しみのある牛小ラップを取り上げることで、子どもたちは意欲的にあいさつについて考えを深めていくことができるであろう。次に、自己、学級全体のあいさつの様子を振り返っていく。対話的な深い学びとなるよう、振り返りから課題を見つけ、課題解決の方法を話し合う時間を設ける。子どもたちが話し合うための根拠となるように、事前に取ったあいさつについての意識アンケートの結果や授業でのあいさつの様子の映像記録を提示する。子どもたちは自己の姿を客観的に見つめ返しながら課題解決に迫ることができるであろう。その後、自己と学級でそれぞれ目標を立て「明るいあいさつ」を実現することができるように取り組む。取り組み後には振り返りを行い、次の学習や課題発見へと繋げていきたい。学習のまとめとしてあいさつ新聞を作成し、学びを発信していく。本題材の学習を通して、継続的に友達、先生、地域の方に笑顔いっぱいの「明るいあいさつ」を届けられる子になることを期待している。

あいさつしようという意識を継続できる子が少ない。

児童の活動の流れ

どんなあいさつが、「明るいあいさつ」なのか考えよう①

- 普段、どんな時にあいさつをするか考える。◆1
 - ・朝、あいさつをするよ
 - ・帰る前に「さようなら」を言うよ
 - ・授業の始めと終わりにもあいさつをするね
- あいさつをしたり、されたりすると、どんな気持ちになるか考える。◆2
 - ・朝、「おはようございます」と言うと、やる気が出てくるよ
 - ・あいさつをされると、嬉しい気持ちになるよ
- どんなあいさつが「明るいあいさつ」なのか考える。◆3・4
 - ・大きな声のあいさつだと思ふな
 - ・笑顔であいさつをしたら「あかるいあいさつ」だね
 - ・相手の顔を見てするあいさつも「明るいあいさつ」だよ

きちんと、あいさつできているのかな

あいさつの様子を振り返り、自己目標を設定しよう①(本時)

- 自分たちのあいさつの様子を振り返る。◆5
 - ・授業の始め、終わりのあいさつは大きな声でできているな
 - ・あいさつのときに、よそ事をしている人がいたよ
 - ・あいさつのときに、笑顔の子が少ないな
- 自己目標を設定する。◆6
 - ・ぼくは、自分から先にあいさつをしよう
 - ・私は、笑顔であいさつをするよ
 - ・私は、相手の顔を見ながらあいさつをしよう

「明るいあいさつ」をがんばりたいな

自己目標を振り返り、学級での目標を設定しよう①

- 自己目標を振り返る。◆7
 - ・あいさつが大きな声でできるようになってきたよ
 - ・笑顔であいさつができるようになってきたよ
 - ・授業の時のあいさつも、もっと「明るいあいさつ」にしたいな
- 学級での目標を設定する。◆8
 - ・授業の始め、終わりに「明るいあいさつ」をしよう

協力して、「明るいあいさつ」に取り組もう

「明るいあいさつ」を全校に広めよう②

- 学級での目標を振り返る。◆7
 - ・授業の始め、終わりのあいさつが明るくなって、めりはりがついたよ
 - ・「明るいあいさつ」で始めると、授業に集中できるな
 - ・牛久保小学校中に明るいあいさつを広めたいな
- 「明るいあいさつ」を広める方法を考える。◆9
 - ・呼びかけたらどうかな
 - ・あいさつ新聞を作って廊下に貼ろう
- あいさつ新聞を作る。◆10 **新聞活用**
 - ・カラフルに作って目立つようにしましょう
 - ・笑顔であいさつをすることを記事にしよう

◆ 教師支援

- ◆1 多くの意見が出るように、あいさつをする場面だけでなく、どんなあいさつがあるのかを問う。
- ◆2 子どもたちが具体的に考えられるように、場面を設定し気持ちを考えさせる。
- ◆3 子どもたちが主体的にあいさつについて考えることができるように、「牛小ラップ2019ver」を取り上げ、考えるきっかけとする。
- ◆4 あいさつを比較しながら考えられるように、ロールプレイを交えながら「明るいあいさつ」を考えさせる。
- ◆5 客観的に自分たちの様子を振り返ることができるように、アンケートを取った結果や、普段のあいさつの様子の映像記録を子どもたちに提示する。
- ◆6 「明るいあいさつ」をすることを我が事として考えられるように、振り返りから見えてきた課題やその解決方法を学級全体で話し合った上で、自己目標を設定させる。
- ◆7 成長を実感できるように、目標を達成できた日に印をつけられるようにしておき、達成具合を視覚的にとらえながら振り返りをさせる。
- ◆8 学級の課題や解決方法を話し合いやすくするために、もう一度普段のあいさつの様子の映像記録を提示する。
- ◆9 取り組みの実現を可能とするために、自分たちでできるあいさつを広める方法を考えさせる。
- ◆10 学びを伝えられるように、「明るいあいさつ」の中でも、特に伝えたいことを記事として書くように助言する。

「牛小ラップ2019ver」
 明るい あいさつ 愛ことば
 さしすせそうじ スリッパ 整頓
 ろうかは 歩いて けが防止
 集中 集中 授業に集中
 ワンフォーオール!
 オールフォーワン!
 あふれる 笑顔 優しさ 個性

継続的に友達、先生、地域の方に笑顔いっぱいの「明るいあいさつ」を届けられる。

5 本時の学び

(1) ねらい

- ・自分自身のあいさつの様子を振り返り、課題を見つけ、課題解決に向けて考えたり、話し合ったりすることができる。
(思考力・判断力・表現力等)

(2) 展開

○学習活動 ・子どもの発言や思い	◆子どもに期待する姿と支援 ・留意点 ◎評価
<p>○牛小ラップ2019ver を歌う。</p> <p>○普段のあいさつの様子を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをしている人はたくさんいるね ・地域の人にあいさつをしている人は少ないな ・自分からあいさつができる人も少ないね ・授業の始め、終わりのあいさつは大きな声でできているね ・あいさつのときに、よそ事をしている人がいたよ ・あいさつのときに、笑顔の子が少ないな <p>○「明るいあいさつ」ができていない原因を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしくて、地域の人にあいさつができないと思います ・あいさつのときに、相手の顔を見ていないからだと思います ・あいさつに心がこもっていないからだと思います ・あいさつのときに、笑顔がないからだと思います 	<p>◆牛小ラップが課題設定のきっかけだったことを確認するために、全員で歌わせる。</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的に自分たちの姿を見つめ返すことができるように、事前にとっておいた、あいさつについての意識アンケートの結果や普段の授業時の始まり、終わりのあいさつの様子を記録した映像を提示する。【主】 ・前時に子どもたちが考えた「明るいあいさつ」がどんなあいさつだったのかを確認する。 ・友達の意見は最後まで聞く、友達の考えを否定しないという話し合いのルールを確認してから話し合いをする。 <p>◆子どもたちが、あいさつを身近な問題だと感じられるために、どうしてそのように考えたのか問い返す場面を設定する。</p>
<p>「明るいあいさつ」に取り組もう</p>	
<p>○どうしたら「明るいあいさつ」ができるようになるのかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをされた人が、嬉しくなるようなあいさつをしたらよいと思います ・相手の顔を見て、あいさつをするとよいと思います ・笑顔であいさつをしたらよいと思います ・自分からあいさつをするように、みんなで声をかけ合えばできるようになると思います <p>○「明るいあいさつ」ができるようにするための自己目標を設定し、発表する。◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、自分から先にあいさつをします ・私は、笑顔であいさつをします ・私は、心をこめてあいさつをします 	<p>◆できていないところを直すだけではなく、できているところを伸ばしていくと考えられるように、あいさつができていた時の映像を提示し、どんなところがよいのか話し合わせる。【対】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉で説明しにくい子には、実際にあいさつの模範を示させることで、伝えるようにさせる。 ・具体的に取り組むことができる目標を設定するように伝える。 <p>◎課題を見つけ、課題解決に向けて考えたり、話し合ったりすることできたか。 (話し合いの様子、ワークシート)</p>
<p>○牛小ラップ2019ver を歌う。◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よし、あいさつをがんばるぞ 	<p>◆実践への意欲を高めるために、牛小ラップを歌わせる。【主】</p>